

## 第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会

## 趣 意 書

拝啓 皆様におかれましては、ますます御健勝のことと心からお喜び申し上げます。また、日頃から、神奈川県社会教育委員連絡協議会の活動に対しましては、格別の御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、人生 100 年時代といわれている昨今、グローバル化や地球環境問題、少子化・人口減少、都市地方格差による様々な社会問題が取り上げられる中、継続的な生涯を通じての学び、誰もが活躍できる環境の整備、持続可能な社会の構築が求められ、社会教育の役割が期待されています。

そこで、本協議会では、「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」を研究主題に、関東甲信越静地区の社会教育委員などが一堂に集まり、各地域における社会教育活動の実践や研究成果などをもとに、社会教育委員の役割や今後の社会教育のあり方などについて協議する、第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会を令和 7 年 11 月 20 日（木）、21 日（金）に開催します。現在、実行委員会を組織し、大会開催に向けて準備を進めているところでございます。

つきましては、神奈川県での開催にふさわしい充実した研究大会にするため、開催の趣旨に御賛同いただき、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和 7 年 4 月

神奈川県社会教育委員連絡協議会長  
第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会委員長 小池 茂子

# 令和7年度 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会 開催要項(案)

## 1. 大会スローガン

「社会教育で創る 育む つなげる 共生の未来へ」

## 2. 研究主題(テーマ)

「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」

## 3. 趣 旨

人生100年時代といわれている昨今、グローバル化や地球環境問題、少子化・人口減少、都市地方格差による様々な社会問題が取り上げられる中、継続的な生涯を通じての学び、誰もが活躍できる環境の整備、持続可能な社会の構築が求められ、社会教育の役割が期待されています。

今回の神奈川大会では「すべての人が学び続けられる社会をつくるために社会教育ができること」をメインテーマとして研究大会を開催いたします。

開港166年を迎え日本の伝統文化と近代的な都市との融合がみられる神奈川県「横浜」の地で、これからの社会教育について、私たち社会教育委員に何ができるのか、何を担うべきかを考える2日間としたいと思います。

## 4. 主催／共催

一般社団法人全国社会教育委員連合、関東甲信越静社会教育委員連絡協議会、第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会、神奈川県社会教育委員連絡協議会、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

## 5. 後 援 (予定)

神奈川県、横浜市、神奈川県公民館連絡協議会、神奈川県地域婦人団体連絡協議会、神奈川県社会教育協会、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)

## 6. 期 日 令和7年11月20日(木)、21日(金)

## 7. 参加者(700人程度)

- ・ 関東甲信越静各市町村社会教育委員及び事務局関係者
- ・ 同地区の社会教育関係団体会員、社会教育施設職員等社会教育関係者
- ・ 同地区の地域住民、NPO法人、社会教育士、学校関係等、生涯学習・社会教育に関心のある方

## 8. 会 場

### 【1日目（全体会）】

- ・ 関内ホール（大ホール） 横浜市中区住吉町4-42-1  
JR 関内駅北口 徒歩6分  
市営地下鉄ブルーライン関内駅9番出口 徒歩2分

### 【2日目（分科会）】

- ・ 関内ホール（小ホール） 横浜市中区住吉町4-42-1  
JR 関内駅北口 徒歩6分  
市営地下鉄ブルーライン関内駅9番出口 徒歩2分
- ・ 横浜市開港記念会館（講堂） 横浜市中区本町1-6  
みなとみらい線日本大通り駅1番出口 徒歩1分  
JR 関内駅南口 徒歩10分
- ・ 横浜情報文化センター（情文ホール） 横浜市中区日本大通11  
みなとみらい線日本大通り駅3番情文センター口直結  
JR 関内駅南口 徒歩10分
- ・ 横浜市技能文化会館（ホール1） 横浜市中区万代町2-4-7  
市営地下鉄ブルーライン伊勢崎長者町駅1番出口 徒歩3分  
JR 関内駅 徒歩5分
- ・ かながわ県民センター（ホール） 横浜市神奈川区鶴屋町2丁目24-2  
JR・市営地下鉄・みなとみらい線横浜駅きた西口 徒歩5分

## 9. 参加費

4,000円（大会資料代等） ※学生の参加費は2,000円

## 10. 日程

日	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6									
第1日目 11月20日 (木)			受付	歓迎 セレモニー	開 会 行 事	記 念 講 演	シ ン ポ ジ ウ ム	閉 会 行 事		分 科 会 準 備	情 報 交 換 会								
第2日目 11月21日 (金)		受付	分 科 会 (5会場)	<予定> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>受付</td> <td>開始</td> <td>終了</td> </tr> <tr> <td>第1日目 11:00</td> <td>12:00~16:40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2日目 9:30</td> <td>10:00~12:30</td> <td></td> </tr> </table>							受付	開始	終了	第1日目 11:00	12:00~16:40		第2日目 9:30	10:00~12:30	
受付	開始	終了																	
第1日目 11:00	12:00~16:40																		
第2日目 9:30	10:00~12:30																		

## 11. 大会内容

### 第1日目【全体会】

12:00～12:20 歓迎セレモニー  
中国獅子舞（仮称）

12:30～13:00 開会行事

- ・主催者あいさつ  
第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員長  
全国社会教育連合会長
- ・来賓祝辞
- ・歓迎のことば
- ・来賓紹介

13:10～14:10 記念講演  
テーマ：「誰もが自分らしく生きることができる世の中を目指して」(仮)  
認定 NPO 法人スローレーベル 栗栖 良依 氏

14:20～16:20 シンポジウム  
テーマ：「すべてのひとが学び続けられる社会をつくるために社会  
教育ができること」  
＜コーディネーター＞  
青山学院大学 コミュニティ人間科学部 教授  
伊藤 真木子 氏  
＜シンポジスト＞  
東京都台東区教育委員会社会教育主事 阪本 陽子 氏  
相模原市社会教育委員 渡邊 健一 氏  
前厚木市立森の里公民館長 青木 信二 氏

16:20～16:40 閉会行事

- ・全員合唱
- ・次期関東甲信越静社会教育研究大会開催県あいさつ（群馬県）
- ・閉会のことば

## 第2日目【分科会】

9:30~10:00 分科会受付

10:00~12:30 分科会

	分科会名	研究テーマ	発表市町村（都県）
第1分科会	地域の教育力の再生と社会教育委員の役割	地域の教育力の低下がささやかれる中、地域の教育力を再生していかなければならない。その再生にむけた社会教育委員の役割について考える。	・長野県 ・海老名市（神奈川県）
第2分科会	次の世代につなぐ持続可能な社会	予測できない未来に向け、持続可能な社会の担い手を育成するために社会教育ができることを考える。	・栃木県 ・藤沢市（神奈川県）
第3分科会	家庭教育支援	子育て・家庭教育の大切さを認識し、地域・学校など社会全体で支えるような親や子どもを支援していく取組について考える。	・群馬県 ・未定（神奈川県）
第4分科会	共生社会の実現	年齢、性別、障がいの有無、文化的背景等に関わりなく、誰もが豊かな人生を享受することができる共生社会の実現にむけた社会教育の役割について考える。	・川崎市（神奈川県） ・茅ヶ崎市（神奈川県）
第5分科会	地域学校協働活動	地域学校協働活動において地域の資源を生かし、活動をとおして地域の活性化を図り、積極的な世代間交流につなげる取組について考える。	・新潟県 ・真鶴町（神奈川県）

## 12. その他

### 大会冊子について

- ①配付予定部数・・・700部
- ②規格・・・A4版（概ね50ページ）、表紙（裏表紙）のみカラー印刷
- ③内容・・・記念講演、シンポジウム、分科会等の資料のほか、協賛者の広告、氏名等を掲載
- ④配付先・・・大会当日に参加者全員に配布